



千葉県マスコットキャラクター チーパくん

犬猫からの感染にも注意！！

# SFTSをご存じですか？

## 「SFTS」ってどんな病気なの？

SFTS(重症熱性血小板減少症候群)は主にSFTSウイルスを保有するマダニに刺されることで、感染する病気です。

動物だけでなく人にも感染します。

感染した犬や猫の体液からも感染することがあります。

発症していない健康な猫や犬、屋内のみで飼育されている猫や犬から人がSFTSウイルスに感染した事例はこれまでに報告されていません。

### 人の主な症状

初期症状は発熱、全身倦怠感、消化器症状(おう吐、下痢)で、意識障害や出血症状が出現し、重症化すると死亡することもあります。

西日本を中心に年間約120例の患者発生届出があり、令和7年にはこれまでに届出がなかった茨城県、神奈川県、北海道などでも届出がありました。

### 動物の主な症状

発熱、元気消失、消化器症状(おう吐、下痢)など人と同じような症状を示すことがあります。

国内では令和6年に犬12頭、猫194頭の報告がありました。発生の多くは西日本ですが、令和7年には茨城県での発生がありました。



## 「SFTS」を防ぐために

### ★人も動物もマダニの衛生害虫対策をしましょう★

- ・野山や河川敷で活動するときは、長袖・長ズボン・登山用スパッツを着用するなど、肌の露出を少なくしましょう。
- ・動物に触ったら必ず手を洗いましょう。
- ・ペットがマダニに刺されないよう、獣医師に相談し、マダニ駆除剤を使用しましょう。

### ★ペットの健康状態に注意をしましょう★

動物が体調不良の際には、マスク、手袋などを着用し、咬まれたり舐められたりしないように注意した上で、動物病院を受診しましょう。



身体に不調を感じたら**早めに医療機関を受診**しましょう

SFTSについて詳しく知りたい場合は  
厚生労働省ホームページをご覧ください。→→→



※SFTS以外にも、動物から人に感染する病気(動物由来感染症)があります。  
動物由来感染症を予防するための注意事項は裏面を参照ください

裏面へ

# 動物から人に感染する病気(動物由来感染症)を防ぐために気を付けてほしいこと

## 動物とのふれあい

- 動物との過剰な触れ合いは控えましょう  
動物の口の中などには細菌やウイルス等があることがあります。
- 野生動物との接触はできるだけ避けましょう  
野生動物はどのような細菌、寄生虫及びマダニ等を保有しているかわかりません。
- 動物に触ったら必ず手を洗いましょう  
動物は人に病気を起こす病原体を持っていることがあり、毛に病原体がついていることがあります。
- 砂場や公園で遊んだら必ず手を洗いましょう  
砂場や公園では動物が排泄することがありますので、注意が必要です。

## 動物のお世話

- 動物の身の回りは清潔にしましょう  
ブラッシング、爪切り等こまめに手入れをするとともに、寝床等もこまめに清掃をしましょう。
- 動物の糞尿は速やかに処理しましょう  
糞中で病原体が増殖したり、糞尿が乾燥し病原体が空気中を漂うことがあります。
- 室内で鳥を飼育するときはこまめな清掃換気を心がけましょう  
羽毛や乾燥した排泄物、塵埃が室内に充満しやすくなります。



## ペットの健康管理

- ペットの体調管理に気をつけましょう  
ペットの健康状態の変化に注意し、異常を見つけたら早めに獣医師に相談しましょう。
- ほかの動物との接触に注意しましょう  
動物由来感染症は他の動物、蚊やマダニ等からも感染します。他の動物との接触に注意し、マダニ等の駆除に努めましょう。
- ペットに生肉を与えてはいけません  
生肉や加熱不十分な肉には有害な寄生虫や食中毒菌等が存在する可能性があります。十分に加熱してから与えましょう。

## もしものときは

- 動物にかまれた、ひっかかれた等の事故が発生したら  
すぐに傷口を流水で洗浄し、消毒をしましょう。必要に応じて医師の診察を受けましょう。
- 身体の具合が悪いと感じたら  
早めに医療機関を受診しましょう。受診の際は、医師に動物の飼育状況や接触歴を伝えましょう。

詳しい情報は厚生労働省ホームページ「動物由来感染症」をご覧ください →

動物由来感染症 厚生労働省

検索



人も動物もみんなが健康でいるために



←千葉県では動物と暮らすときに気を付けてほしいことなどについて、YouTube動画を配信しています。

# CHIBAちば

発行：令和8年2月  
千葉県健康福祉部衛生指導課  
電話 043-223-2642